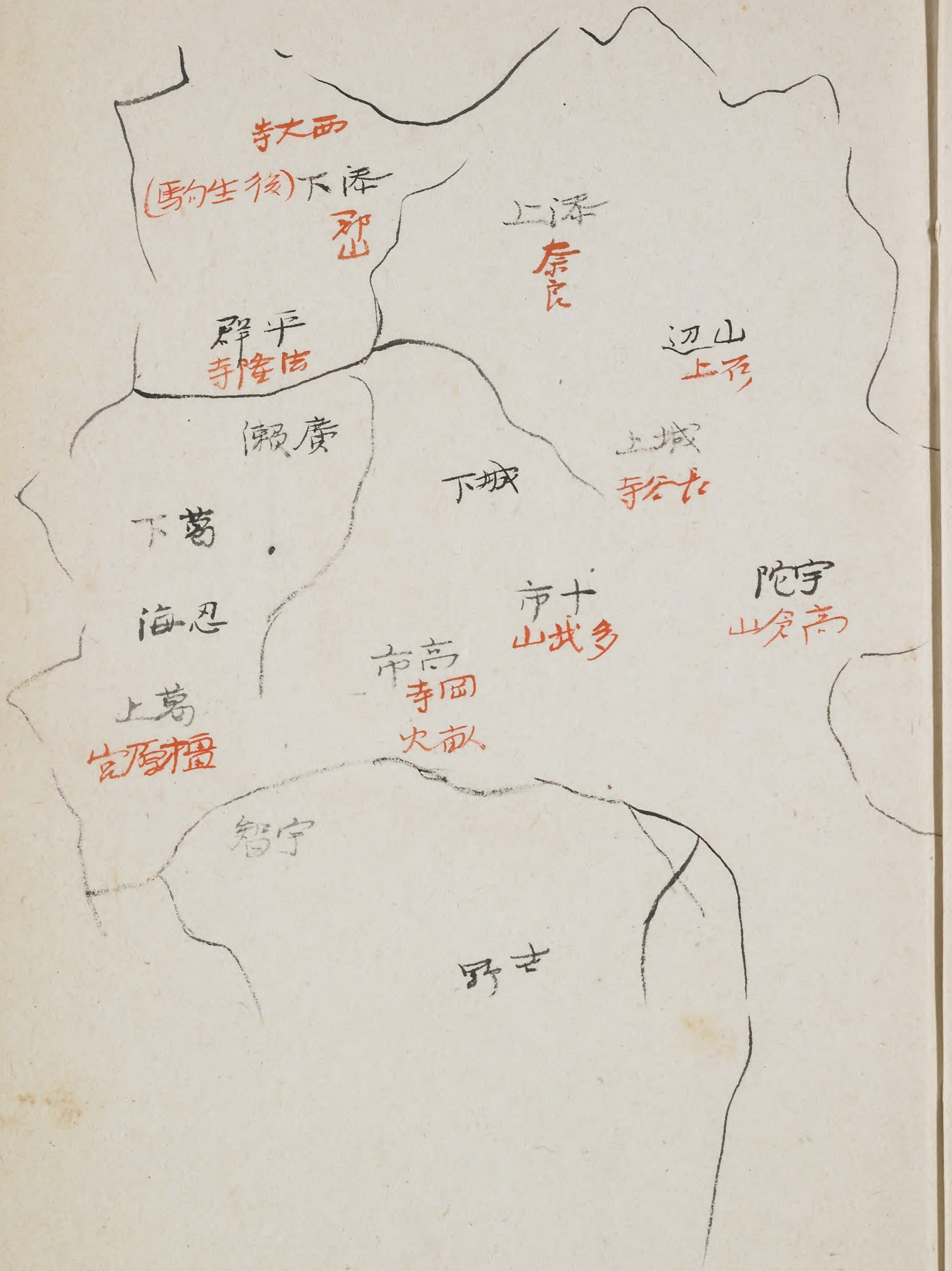
南都小記

一

G25
67



東京帝國大學圖書印
B 23475
000432606 2

奈良小記

内道場

玄昉——行基——道鏡

戒壇

鑑真——奈良東大寺
　　——筑紫観世音寺
　　——下野薬師寺

八幡宮

宇佐——手向山——男山

帝室及藤原氏

鷗外藏書

天武 ─ 高市 ─ 長屋王
后 持統
草壁 母持統 ─ 文武 夫人 宮子 ─ 聖武 后 安宿、光明 ─ 孝謙
不破

鎌足 ─ 不比等 妻 賀茂
橘三千代
武智麿 南家
房前 北家
宇合 式家
麻呂 京家
宮子
安宿
豊成
仲麿、恵美押勝
廣嗣

前夫 美努王 ─ 葛城 橘諸兄
佐為
奈良麿

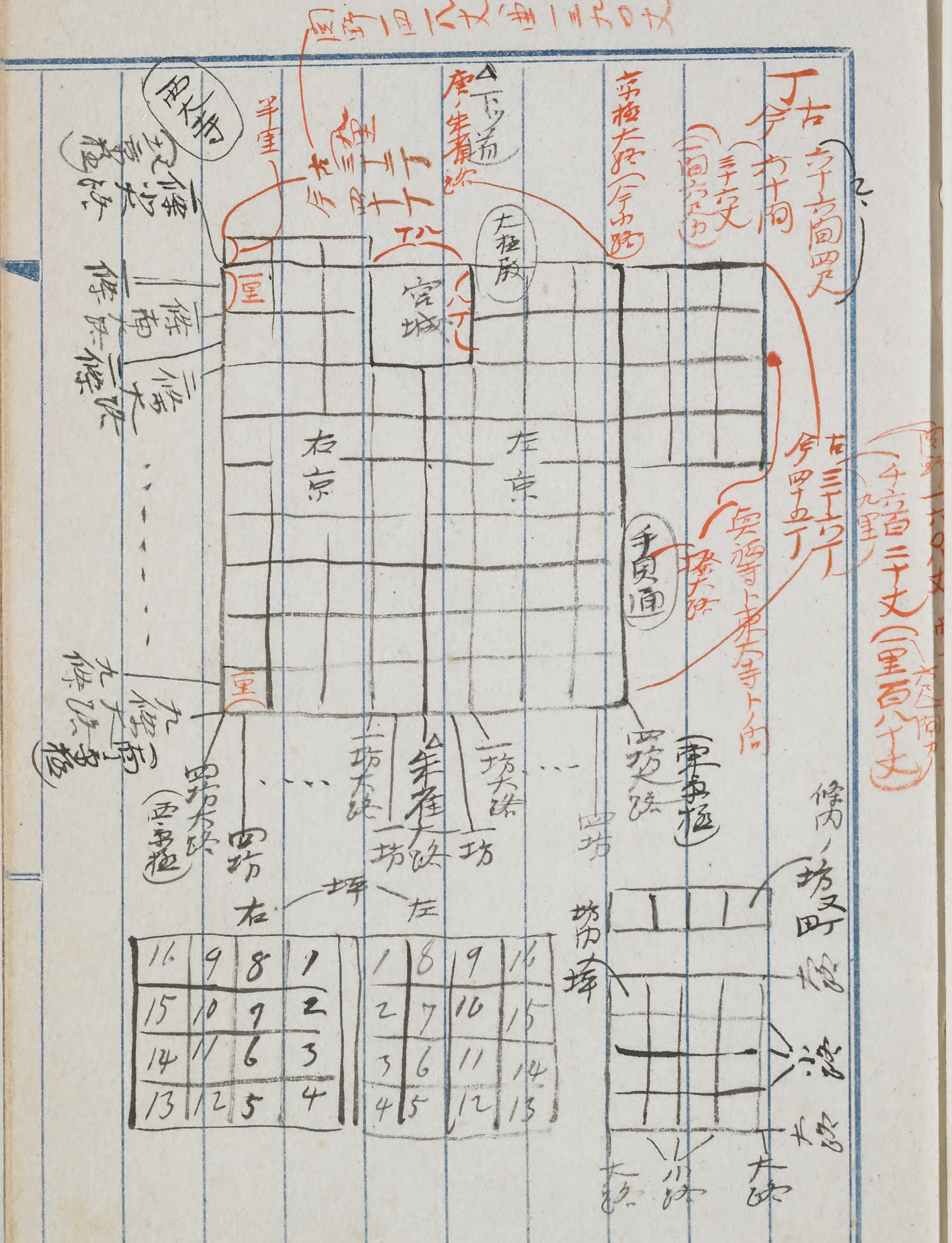
淳仁 舎人之 ─ 仲麿 ─ 称徳 ─ 光仁 天智孫

義淵 岡寺
道慈 三論
玄昉 入唐
良弁 華厳 東大寺
隆尊 法相 鑑真ヲ招ク 律宗
僧侶

僧綱
僧正
僧都
法頭、後律師

玄昉
行基
道鏡
道眼
神叡

飛鳥
推古
舒明
皇極
孝徳 難波
斉明
天智 近江
弘文
天武
持統
文武
帝都
藤原宮
平城 不比等企之
関野貞 奈良時代奥千此



奈良・「元正　聖武　孝謙　淳仁　称徳　光仁」
元明（奈良に都成）和銅三年三月

飛鳥
豊浦
岡本 トヨラ東
浄御原 岡本南
河原
板蓋
藤原 持統

般若寺越 旧 ＝ 奈良坂 今

歌姫越 今 ＝ 平城坂 旧（奈良ノ諸原）＝ 高座峠 山城男

奈良近東印行（一歩）

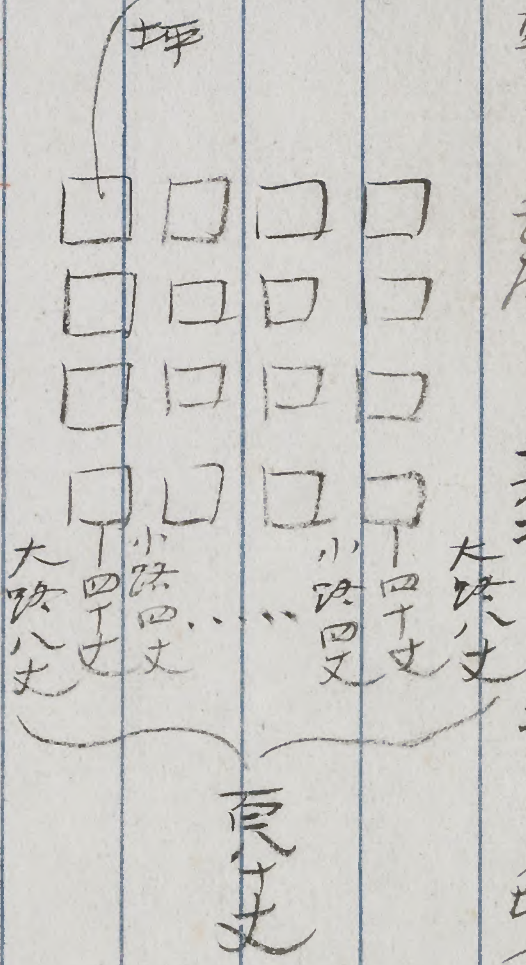
（古）一歩（大宝 五大尺）和銅後（前 一丈／後 一丈二寸）六尺

（今）一間 六尺

（古）一里（大宝 三百歩／百八十丈）和銅後（前 三百歩／後（六尺）三百六十間）

（今）一里 三十六丁

大極殿ハ朝堂ノ正殿ナリ 其北ニ十二堂ノ址（芝地）アリ



大極殿 名起于宮太極、七宇宮殿 唐大明宮ニアリ

（古）

1里 = 4[5]丁（大宝令五丁） = 300歩（間） = 1500尺（1800）

1 = 75 [60] = 375 [300]

1 = $\frac{5}{(6)}$

（今）

1里 = 5[6]（和銅後六丁） = 360間 = 2160尺

1 = 72 [60] = 372 [360]（里400）

1 = 6（里6.5 曲尺）（6.6 2/3 古尺）家康後之

豊公天正検地（面積）
前 1段 = 360歩
後 1段 = 300歩 家康後之
間ニ六尺五寸ヲ一間トス
1町 = 10段 = 3000歩

（古尺六尺六寸三分二）曲尺ヨリアリテ地方ニ用ヰラル（吾多）

曲尺一尺八分（曲尺ノ九寸七分五厘）

京南路西條里

36	25	24	13	12	1
35	26	23	14	11	2
34	27	22	15	10	3
33	28	21	16	9	4
32	29	20	17	8	5
31	30	19	18	7	6

條里　地方ノ條里坪ハ都ノ條坊坪ニ
當ル　一丁三十六丈（六尺一間）
六丁一里ノ一里四方ヲ六々三十六ニ分チ
宮城ニ近キ方ヲ一トス
一里　三十六丁トナル
柱幅四寸ノ二寸ヲ引キ六尺三寸トス
疊ノ大サハ四ス六尺三寸ニ
京間　中国四国　＝6.5尺
田舎間　東京　＝6
八疊ノ間ノ一辺ハ二間即一丈二尺トシ柱幅四寸角ノ半二本テ引ツト
キハ一丈一尺六寸トナリ疊長五尺八寸

寺院

石川精舎　馬子立、今高市郡見瀬附近石川東明寺　｜元興寺院　支院今十輪

法興寺　今飛鳥大佛、飛鳥小学校（昔浄見御原宮前）迄

豊浦
向原寺　稲目宅、又櫻井寺又豊浦寺又建興寺　今飛鳥豊浦ニ廣嚴寺ノ南ニ
礎石アリ

葛城寺　今飛鳥櫻井ノ北、礎石近六、　｜奈良元興寺南寺

太秦寺　山城葛野

法隆寺　天智天皇九年後立

法輪寺塔　同上

法起寺　慶雲三年塔成

薬師寺　東塔天平二年立、高市木殿ノ本薬師寺　―薬師寺　奈良

中宮寺　法隆寺附近、有天寿国曼荼羅、

熊凝寺　郡山南、今額安寺、古之大安寺　―百済大寺　百済庄　―大官

大寺　飛鳥高市、香久山南、礎近七　―大安寺　今之薬師寺之西　―大安

寺　大安寺村

達磨寺

放光寺

山田寺

川原寺又弘福寺　飛鳥

山階寺

崇福寺

朝護孫子寺　信貴山毘沙門天

長谷寺

國分寺

東大寺

唐招提寺　鑑真戒壇、

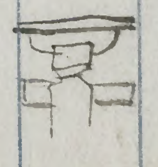
西大寺　文書藏東京文科大學、

西隆寺　西大寺東、今亡、

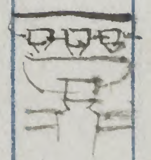
楣（マグサ）　水平ノ木、洋屋ノ弓ノ代り　建築

斗組又組物又枓栱　斗栱ト其下ノ肘木トヨリ成ル

大斗肘木　柱ノ直上ニ大斗アリ其上ニ一ーーーアリテ桁ヲ支フ
コレヨリ簡ナルハ舟肘木ナリ



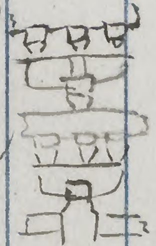
三斗（ミツド）　大斗肘木ノ上ニ斗三ツ置キテ桁ヲ支フ



出三斗　三斗ノ中央ノ斗ヨリ肘木ト斗トヲ一ツ前ヘ出ス

出組　出三斗ノ上ニ更ニ三斗ヲ置キテ桁ヲ支フ

二手先　出組ヲ今一ツ出ス



三手先　二手先ヨリ今一ツ出ス、奈良時代ニ形多シ
後世六手先、七手先ニ至ル

軒ノ一重二重　一重ハ椽ガ一カハ並ブ二重ハ二カハ並ブ其下ハ地椽ニテ断面圓シ上ハ飛檐椽ニテ断面方ナリ

平　正面

妻　側面

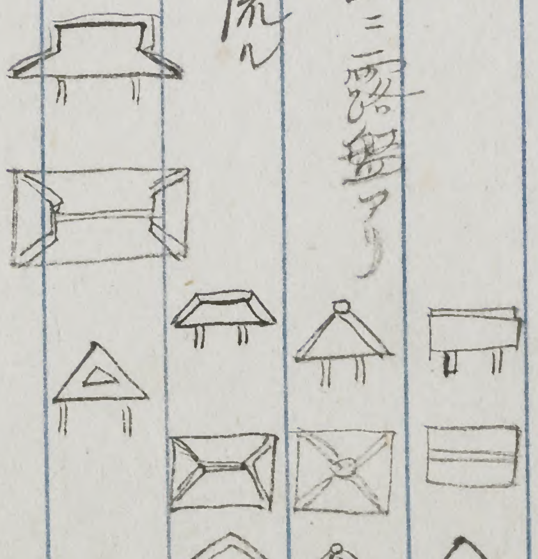
屋根ノ四種

一、切妻　側面ヲ切ル

二、宝形　四方ヨリ棟ヲ集メ中央一点ニ合ス此点ニ露盤アリ

三、四注又寄棟　雨ヲ四方ニ流ル、八注ハ八方ニ流ル
大佛殿ハ四注

四、入母屋　四注ノ上ニ切妻ヲ載ス
南大門



大棟　鴟尾アリ一名沓形

下り棟　大棟ヨリ下ル　鬼瓦アリ昔ハ蓮華紋、雲紋アリ

皿斗　柱ト大斗トノ間ノ板、飛鳥時代ニアリテ奈良時代ニナシ

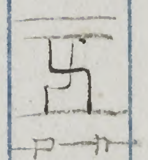
雲斗雲肘木　飛鳥時代ニアリテ奈良時代ニナシ

壇　地盤ヨリ上ニ重ヌ

何間何面　五間四面トハ正面六柱五間、側面五柱四間アリ

内陣　例ハ金堂五間四面ノ内ニ三間二面ノ内陣アリ

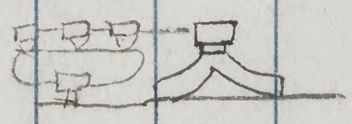
勾欄　金堂ノ下ト二階トノ接續ノトコロニアリ
平桁ト地覆トアリテ間ニ卍崩アリ



腰組　勾欄地覆ノ下ノ斗組

蟇股　腰組ト腰組トノ間ニアリ

金堂壁画　傳曇徴作



奈良時代本期ニ発達ス　但内部
彫刻ナシ

天井画　宝相花

支輪　内陣天井ニ近キ所ニアリ、奈良時代ニ始マル
軒天井

歩廊　大佛殿ニアリ

虹梁　柱ノ上ニ大斗、其上ニ大虹梁、其上ニ蟇股、其上ニ二重虹梁

（波斯）

繋虹梁　側柱ト内陣柱トノ間ニアリ其上ニ蟇股、其上ニ斗アリ

藝術

漢 → 南北朝 → 隋 → 唐 → 奈良

印度 → 西域 / 南北朝 / 隋 / 唐

薩珊 → 西域

東羅馬 → 西域

西域（天山南北路及其西部
并印度西北部）→ 南北朝

朝鮮三国（新羅、高句麗、百済）→ 飛鳥

飛鳥時代

彫塑　鞍作鳥　法興寺釈迦、法隆寺金堂釈迦三尊

同派ノ金堂薬師

小男派　法輪寺金堂釈迦、同寺虚空蔵、法隆寺夢殿観音、中宮寺如意輪観音、
太秦廣隆寺如意輪観音、

山口大口費 法隆寺金堂四天王

絵画 法隆寺天蓋天人、同玉虫厨子（密陀画）〇中宮寺天寿国曼荼羅

奈良時代 彫塑 塑 忍乾漆 ト 木心乾漆（脱活漆）ト塑、塼、石、

前期 薬師寺聖観音、法隆寺橘夫人念持仏、長谷寺千仏銅版 薬師寺（講堂）薬師三尊

本期ノ一 薬師寺金堂薬師三尊、法隆寺塔内像

二 三月堂像、大仏、東大寺四天王、新薬師寺薬師、同寺十二神将

三 招提寺廬舎那仏、同薬師千手観音等、秋篠寺像

絵画 法隆寺金堂壁画、聖徳太子像、因果経、薬師寺吉祥天、当麻寺極楽曼荼羅、正倉院樹下美人

仏経

一 学術方面 伝教（最澄）天台 弘法（空海）真言 祈願（平安時代）

興福寺 仁王経、金光明経 国分寺 （大仏）華厳経（平城時代）

一 実際方面

戸籍

黄 三歳以下

少 十六歳以下

中 二十歳以下

丁 二十一歳

老 六十一歳

耆 六十六歳

五戸ニ保、有保長

學校

大學寮ハ式部省ノ被管直[illegible]ナリ

古印刷物　神護景雲四年四月百万塔中ノ無垢浄光陀羅尼

大和魂（俗）世才、常識　学才

漢才　學者　伊周

家屋

瓦　カハラ　朝鮮語

丹塗、春日造、

正倉院

明治十五年黒川真頼入、認密陀繪為石鹸、

奈良近東印行（歩）

思想

穢

市（イチ）商業中心ヲ離レテ都政中心ノ立ツコト　遷都ノ原因

儒

道　古ノ所謂神道　祥瑞説ト讖緯説（甲子革命、辛酉革命）（年号ノ白雉、白鳳、朱鳥）（日本紀ノ首　淮南子[illegible]）

佛　日本ニテハ平民的ニナリ　律宗、法相宗衰へ　天台起リ　其ノ貴族的ナルニ至リ

浄土宗、真宗、日蓮宗起ル

両部神道

本地垂跡

僧兵

寺院ニ荘園アルヨリ興ル 衆徒（学生ト） 學侶文ト衆徒武ト 三綱ノ下ニアリ

叡山 北嶺山法師 敵ノ僧兵 衆徒ノ下ニ国民アリ 後ニ者自立ス 其一ハ筒井氏ナリ 秀吉

園城寺 宗次ヨリ伊賀上野ニ移レテ勢力絶ユ 秀長裂封、井上定利治奉じ、

南都 東大寺 八幡ノ神輿ヲ奉ズ （春日ニ顛覆（宗徧馬ヲナス）アリ）

興福寺 「神木 春日社榊ヲ附ス」 「神木動座」 ○○○僧王ニ徃ク 敵ハ清盛 故ニ頼朝之ヲ助ク

其他多武峰 寺ノ僧東坊坊ノ際アリ 興福寺ハ筒實助ク

吉野金峯山 荘園ニ郷士出ヅ 後六方衆、八方衆等

京都ハ僧兵ニ苦シムガタメニ源平ノ力ヲカル （自アリ）

南朝（後醍醐ハ東大寺東南院ニ入リ笠置城ニ向フ 護良ヨリ天台座主トシテ叡山ヲ用ヰントス）

次デ 護良又吉野金峯山ヨリタム 南都ハ足利ニ組ス 吉野ハ中立ス 故ニ吉野ニ向フ（金峯山）（吉水院宗信）

西阿ハ例外

古蹟

神武上陸、西北烏見有烏見彦又長髄彦抗之、神武自熊野入宇陀、一云、従十津川泝吉野川、一云、経伊勢、一云、経北山、 居橿原

御年神社、農神、素盞男神之孫、南葛城郡

雲梯神社 事代主 高市郡 （今川畑神社）

高鴨神社 大物主 輪三十 味鉏高彦根 葛城

飛鳥神社 加夜奈留美

久度 ― ―

山口 ― ―

水分 ― ―

御縣ーー
天香ーー
鏡作ーー　造神若処
多ーー　八井耳　神武子
笛吹ーー　南葛城、ハハカノ木ヲ出ス亀トノ亀ヲヤリテ新シ
生駒ーー　右ノ忌火ヲ出ス
丹生川上　吉野川支流小川村ノ丹生神社、後蟻通神社其地ヲ爭ル
鳥見靈時
今木　以下帰化地三地
百済

呉原　後栗原　高市
狹山　山城、
軽寺　今法林寺
毛原山田　郡　無名ノ寺
陵　杉下見林　細井知名、紀慎　郡山　兄弟　岡吉ーー吉保
塚山ヲ神武トス今ハ綏靖
柴野栗山ノ村ハ塚山ニ
野口元武ヲ初五條野丸山トス
宇和那辺、小那辺ハ初元明元正トス
金石文地字

威奈大村墓誌　二上村穴虫

文禰麿墓誌　内牧村八滝

楢山碑　元明陵

美努岡萬墓誌　南生駒村萩原（明治）

小治田安万侶墓誌　都介野村甲岡（大正）

地誌

日本輿地通志畿内部大和国　享保丙辰板　京都柳枝軒茨方道寿

（大和志）九巻四冊

関祖衡、江州人、著

並河永、丹州人、校

野呂実父、勢州人、校

海北千之、摂州人、校

久保重宜、摂州人、校

中井知徳、豆州人、校

大養徳　天平九年　大和　十九年復称

高座嶺　歌姫越　ー奈良ー肘冢ー永井ー帯解ー蔵庄ー楢村
　　　　　　　　　　　　[illegible]

ー櫟本ー河原城ー丹波市ー三昧田ー新泉（ニイヅミ）ー柳本ー

辻村ー箸中ー芝村ー三輪ー櫻井

河内界　暗嶺（くらがり）　竹内嶺

伊勢界　杉谷嶺ー五條

奈良附近地名異訓　邑地(オフチ)　月ガ瀬　大保(オホ)　水間(ミマ)　誓多林(セタリ)

杉谷(スギダニ)　椿尾(ツバイオ)　安場(アバ)　發志院(ハシ)　[illegible]

春日山又御蓋山　本宮又浮雲　水屋又羽買　高峰又香山

若草山又鶯山

佐保山又[illegible]谷

奈良嶺又那羅山　歌姫越

鳥羽山　奈良坂北

高円山　白毫寺村上

飯盛山　若草山北

佐保川　鶯滝ヨリ出デ奈良ノ西北ヨリメグリ大和川トナル　石橋　今在家町
古京ヲ貫ク三條ヨリ左京ヲ九條ニ至ル

宜寸川(ヨシキ)（佐保）　春日山ヨリ出デ東大寺ヲメグリ佐保川ニ入ル
左京ニ入ル

率川(イサ)　春日山ヨリ出デ猿沢池ノ南ヲメグリ奈良川ニ入ル　恵橋　押上町
左京ニ入ル
北支菩提川　南支尾花谷川

春日祭神四座
秋篠川又佐紀川
古ノ堀川又西堀川カ　右京二坊ヲ八條ニ至リ今ハ東折ス

武甕槌命
菰川　七條一坊ニ入ル

斎主命
能登川
飯合川、岩井川

天児屋根命
氷室神社　(中)円鏡　稲置大山主命　(左)仁徳天皇　(右)額田大中彦皇子

姫大神

吉備塚　高畑村

開化陵　春日率川坂上陵　開化　林小路町

頼長墓　般若寺村

大奈辺　奈保山東陵、元明

頭塔冢　玄昉又言吉備世墓

小奈辺（奈保山西陵、之辺）

新薬師寺　香薬寺

聖武陵、佐保山南陵、眉間寺上

元興寺　元興寺

極楽院　小塔院　十輪院

光仁陵　田原東陵　東田原村

八島陵、崇道天皇、早良親王　山村

興福寺　厩坂寺、山階寺、春日寺

東大寺　大華厳寺、城大寺、総国分寺、金光明四天王護国寺

三倉院　三倉　正倉、沈香、籍田鍬、鞘ノ色ノ宝

般若寺　護良避難于此

法華寺　国分尼寺

白毫寺

能登川　一歩　号五十三瀬、自宮後門　一説ニ三十瀬　此川ヲ渡リ寺ニ上ル

左京ニ入ル

柳本寺　岳安寺　在櫟本村、有所謂人麿冢、清輔埋之、人麿死石州高

角、不知此埋誰矣、

大安寺　大安寺村　笠女郎歌　ガキノミりノ云々

添下

菅原神社

垂仁陵　菅原伏見東陵　宝来村東

薬師寺　西京寺

西大寺　高野寺

唐招提寺　元興寺、建初律寺

鑑真

菅原寺　喜光寺

行基

成務陵　狭城盾列池後陵　山陵村東

神功陵　狭城盾列池上陵

安康陵　菅原伏見西陵　宝来冢山

称徳陵　高野陵

平城陵　楊梅陵

平群

生駒山

信貴山

龍田山　龍田川　立瀬舟

三室山 神南村　神南備

小倉峰

富川 班鳩宮小川・　班鳩

法隆寺 班鳩寺

中宮寺 班鳩尼寺

法輪寺 法琳寺

奈良近東印行（歩）

東福寺

廣瀬

百濟

葛上

葛城山 金剛山、高天山　葛城川　金剛山寺

高鴨神社

白鳥陵

孝昭陵 掖上村 掖上博多山上陵

橿原宮 柏原村

孝安陵 玉手村 玉手丘上陵

葛下

當麻

二上山　大津皇子墓

大坂

片岡山

忍海

笛吹山

栗栖ノ小野

宇智

狭嶺山

五條

楊貴氏墓

真土山

内大野

阿太ノ大野

荒木

吉野

吉野山　吉野川

十津川

後醍醐陵　如意輪寺後

村上義光元墓

殺家従人寧墓、在吉野山村世尊寺上

金峰山寺

行宮

池田荘麻志口村「雄略」

大滝村

宮滝村

下市村

後醍醐皇居 加名生荘和田村

後村上皇居 黒淵村、黒木御所

宇陀

高倉山

城上

泊瀬山 隠口（コモリク） 鳥見 泊瀬川

鳥見丘 跡見

三輪山

纒向山 巻向

初瀬寺 豊山寺、長谷寺

海石榴市

忍坂山

高市

畝火山

浄御原 上居村
神武陵 畝傍山東北陵 四條村
南淵先生墓 稲渕村
菩提寺 橘寺、仏頭山
竜蓋寺 岡寺
南法華寺 壺坂寺
廣厳寺 向原寺、豊浦寺
飛鳥浄見原宮 上居村
入鹿第 豊浦村
十市

綏靖陵 桃花鳥田丘上陵 慈明寺村字南 ツキタ
安寧陵 畝傍山西南御陰井上陵 吉田村
懿徳陵 畝傍山南纖沙渓上陵 四條村
孝元陵 劔池島上陵 石川村
宣化陵 身狭桃花鳥坂上陵、鳥屋村
欽明陵 檜隈坂合陵 平田村
斉明陵 越智岡上陵 北越智村
天武持統陵 檜隈大内陵 五條野村
文武陵 檜前安古岡上陵 平田村

奈良近東印行（歩）

多武山 田身
倉梯山 倉梯 今金福寺
香具山 持統離宮
耳梨山 行宮 木原村
崇峻陵 倉梯岡陵 倉梯村東赤坂
多武峯墓
稚桜宮 池内村、神功
山辺
磯城
闘鶏野

穴穂宮 田村、安康

廣高宮 嘉備村、仁賢

刀手山

石上 布留山

寧都古今図 北浦タトリテ宗孟寛作ル

京城

関野貞尺

小尺 ＝ 0.98 曲尺

大尺 ＝ 0.98×12 ＝ 1.176 曲尺

佐保路門ハ今ノ轉害門ナリ

正倉院藏古寫王勃文巻首

於越州永興縣李明府宅送蕭三還齊州序（宅）（序）

嗟乎不遊天下者安知四海之交不涉河梁者豈識

別離之恨陰松披薛琴樽為得意之親臨遠登高烟（薛衣松杖）

霞是賞心之事亦當將軍塞上詠蘇武之秋風隱士（四傑集本無此二十三字）（全唐文無此二十三字）

山前歌王孫之春草故有梁孝王之下客僕是南河

之南孟嘗君之上賓子在北山之北幸属一坐作褰
中之壬四皓為方外之忠俱遊萬物之間相遇三江
之表許玄度之清風朗匝時慰相思王逸少之脩竹茂
林屢陪驩宴加以惠而好我携手同行或登呉會而
聽越吟或下宛委而觀禹穴良談落落金石絲竹之
音暉雅智飄飄松竹風雲之氣壮當此時也嘗謂連
城無他鄉之別斷金有同好之親契生平於張范之
年齊物我於惠莊之歳雖三光廻薄未殫投分之情
四序循環詎盡忘言之道豈期我留子往樂去悲來
横漢水而東西斷浮雲於南北況乎泣窮途於白首

白首非離〔臨〕別之秋歎〔嗟〕岐路於他鄉佗鄉豈送歸之埊〔地〕
蓐收戒節〔序〕少昊伺辰〔晨〕清風起而城闕寒白露下而江
山晩〔遠〕徘徊去鶴將別盖而同飛悽斷〔續〕來鴻共離舟而
倶泛古[illegible]𤯔〔人〕道別動尚〔便〕經季今我言離會當何日山
巨源之風猷令望善佐朝廷嵆叔夜之老〔潦〕倒麁〔粗〕疎甘
從草澤行當山中攀桂往往思仁野外紉〔級〕蘭時時佩
德𤯔〔人〕非李〔桃〕徑豈得無得無言子旣〔是〕簫韶當須〔思〕振響旣〔勉〕
酌觴離之酒宜〔倶〕陳感別之詞〔辭〕各賦一言倶題六韵

鳥毛篆書屏風六扇 高五尺、廣壱尺八寸、紫綾縁、赤漆帖、黒漆釘、紫組緒接扇、

第一扇文云 主無獨治、臣有賛明、

第二扇云 箴規苟納、咎悔不生、

第三扇云 近賢無過、親佞多感、

第四扇云 是善則遷、終為聖徳、

第五扇云 任愚政亂、用哲民親、

第六扇云 明王致化、務在得人、

獻物帳云紫綾縁、赤漆木帖、黒漆釘、碧絁背、

紅纐纈接扇、天保中修補、帖背及接扇並非舊、

鳥毛帖成文書屏風六扇 高五尺、廣壱尺八寸、紫綾縁、赤漆帖、黒漆釘、紫組緒接扇、

第一扇文云 種好田良、易以得穀、君賢臣忠、易以

至豊、
第二扇云　諂辞之語、多悦會情、正直之言、倒以逆耳
第三扇云　正直為心、神明所祐、禍福無門、唯人所召、
第四扇云　父母不愛、不孝之子、明君不納、不益之臣、
第五扇云　清貧長樂、濁富恒憂、孝當竭力、忠則盡命、
第六扇云　君臣不信、國政不安、父子不信、家道不睦、
獻物帳云紫綾縁、木假作斑竹帖、黒漆釘、碧絁背、黄臈纈接扇、亦天保中修補　帖背接扇並非舊

略縁起

夫レ當寺ハ聖徳太子ノ創造ニシテ香藥寺ト號シ黄金ヲ以テ醫王薄伽ノ尊像ヲ鑄治シ秘尊トシテ安置ス茲ニ天平乙酉秋光明皇后眼惱ニ罹セラレ給ヒケレバ　聖武天皇ニハ秘尊ニ向テ皇后眼惱ノ除愈ヲ祈誓シ玉フニ忽然トシテ全愈ス是ニ依テ行基菩薩ニ勅ヲ下シ給ヒ丈六ノ藥師如來ヲ刻セシメ以テ秘尊及ビ佛舍利五粒並ニ　天皇自ラ藥師本願經壹卷ト法華經壹部ヲ皇后ハ金剛般若經壹卷ト法華經壹部ヲ書寫シ倶ニ其腹內ニ納メ本尊トシ勅額ヲ掲ゲ日輪山新藥師寺ト改稱セラレヌ孝謙天皇ハ太上法皇ノ御願ヲ繼デ爰ニ七堂伽藍ヲ造畢シ勅願ノ道場トス時ニ天平勝寶三年冬法皇折節枕席穩カナラザレバ普ク四十九賢ノ僧侶ヲ當伽藍ニ勅請シテ御惱平愈センヿヲ加持セシメラル丶ニ其雲霧ノ風ニ吹拂ハル丶ガ如ク速ニ聖体安穩ナラセラル廢帝及ビ　稱德帝ノ御宇當山ノ僧侶ヲ補セラル　光仁天

皇ハ寶龜二年辛亥冬銅印ヲ鑄シテ十有一寺ニ賜フ其一寺則チ當山ナリ同十一年庚申正月雷火ノ爲メニ伽藍及ビ數多ノ僧坊ハ灰燼ニ屬ス茲ニ幸ヒナル哉奥院伽藍而已其雷火災ヲ免ル則チ現伽藍是ナリ嗚呼時ナル哉天皇崩シ尋デ桓武天皇ノ御宇延暦三年ニ都城ヲ山城ニ遷シテヨリ爾后星移リ歲經ルニ從ヒ再ビ經營スルヲ得ズ竟ニ衰頽ニ皈シ燒失伽藍及ビ坊趾ハ皆耕田ニ屬ス后チ醍醐天皇ノ御宇延喜年間解悦上人暫ク當山ニ錫ヲ留ムルヨリ以來毎歲二月修法料トシテ許多ノ米穀ヲ陛下ヨリ賜フ后チ降テ德川家康公ヨリ寺領若干ヲ寄附セラレ爾后盛衰沿革甚ダ多シ尚ホ委シキハ本緣起ニ詳ナリ

奈良縣奈良市高畑

新藥師寺

南都小記

二

G 25
67

春日神社

式神名帳四座ノ祭神アリ 武甕槌、齋主、天児屋根、比賣為四神、

北ノ飛火野ハ紀ニ和銅五年ニ烽ヲ置クトアリ今ノ博物館

ノ地ナリ

若宮 天押雲根

手向山神社

祭神 應神、玉依、仲哀、神功

若宮 仁徳

東大寺

鷗外藏書

東京帝國大學圖書

B 23475

000432609 0

七大寺ノ一、華厳宗

華厳寺、城大寺、総国分寺、金光明四天王護国寺

聖武ノ時良弁立ツ

南大門ハ天平勝宝四年ノモノトモ正治元年ノモノトモ云フ

金剛力士ハ湛慶、運慶ノ作

狛犬ハ鳥羽ノ時ノ物トモ建久中宋工作トモ云フ

金堂ノ盧舎那仏五丈三尺五寸続日本紀ニ天平十五年十月十五日造ルト云フ天平勝宝三年成ル文徳天皇斉衡二年五月頭落ツ文山之ヲ修ム高倉ノ治承四年十二月二十八日頭又落ツ建久六年堂新ニ成ル重源勧進ス正親町ノ永禄十年十月十日頭三タビ落ツ山田道安之ヲ修ム此ヨリ露仏タリ元禄十四年ヨリ宝永五年ニ至リ堂新ニ成ル重源公慶（元禄ノ重修者）ノ像アリ

大鐘堂ノ鐘ハ延応元巳亥九月三十日ノ銘アリ

三昧堂ヲ四月堂トモ云フ

法華堂（古ク金鐘寺）ヲ三月堂トモ云フ

羂索院ヲ二月堂トモ云フ二月ニ修二会アリ俗ニ松明トモ云フ

知足院ハ地蔵ヲ安ンズ

転害門又佐保路門天平中立ツトモ云フ

般若寺

法性山ト云フ開基ハ舒明、聖武ノ二説アリ夫ニハ清和紀
ニ見エタリ
楼門ハ天平七年ト云フ
十三層石浮図ハ聖武ノ時ノ物ト云フ側ノ笠卒都婆
ハ和泉ノ統所氏郷修ス
護良親王ノカクレシ経櫃ト称スルモノアリ

大安寺

七大寺ノ一ナリ
高市郡ノ大官大寺ヲ遷セルナリ和銅中

興福寺

初メ山城国宇治郡山階郷ノ山階寺ト云フ~~和銅三年~~天智ノ八年
藤原~~不比等~~鎌足立ツ
天武ノ白鳳元年高市郡飛鳥ニ遷ス厩坂寺ト云ヘ
リ
和銅三年藤原不比等此ニ遷ス春日寺ト云フ
南円堂ハ弘仁四年藤原冬嗣立ツ今ノ堂ハ寛保
元年ノ改立ナリ白藤ハ昔ノ種アリ今ノハ元和中
植エツグ
三層塔ハ高サ十三丈三尺康治二年待賢門院立ツ

五層塔ハ光明皇后ノ立ツル所ト傳フ今ノハ應永三十八年ノ
改立ナリ
東圓堂址ノ八重櫻 明治ニ植エ纒ハ師範學校ニアリ
大湯屋ニ永久中ノ釜アリ

元興寺

七大寺ノ一ナリ一名法興寺
靈亀二年元正養老二年並ニ從遷ノ年ナリ初メ蘇我馬
子飛鳥村ニ立ツト云フ今廢シテ假堂アリ

十輪院

元興寺ノ子院ナリ本堂ハ元正ノ宮殿ノ一部ナリ

10 加製

朝野魚養ノ墓アリ
經藏ハ博物館ニ遷ス

新藥師寺

又香藥寺ト云フ天平勝寶三年孝謙帝此寺ニ七藥師ヲ設ク
トアリ

興福院

和氣清麿弘文院ノ址ト云フ

白毫寺

又一切經寺ト云フ高圓山ノ跡アリ

藥師寺

七大寺ノ一ナリ又西京寺ト云
天武ノ時高市郡岡本郷ニ立ツ白鳳九年ナリ養老二年
ニ元行基今ノ地都跡村大字西ノ京ニ徙ス此後観ルニ足ラズ

唐招提寺

七大寺ノ一ナリ初建初律寺ト云フ宝字中天武鑒鑑真
立ツ鑒鑑真ハ淳于氏、揚州ノ人

西大寺

七大寺ノ一ナリ又高野寺
天平神護元年剏ムト云フ史ニ神護景雲元年ノ
寺アリ

法隆寺

七大寺ノ一ナリ初斑鳩寺
推古元年起工シ十五年ニ成ル
金堂ノ本尊薬師光背ニ銘アリ
玉虫厨子アリ

中宮寺

又法輿寺又鵤尼寺ハ上宮太子立ツト云フ

永正中富郷村要前ヨリ従ル

天壽國曼陀羅アリ

大神大社

三輪ニアリ

祭神 大物主、大己貴、少彦名

祭神天慶七年 三諸山ヨリ従ル

長谷寺

豊山泊瀬寺神楽院ナリ又三峯寺ト云 初瀬ニアリ

元亨釋書ニ神亀三年ハ成ルト云フ史ニ神護景雲
三年總稱ノ事アリ

談山神社

大宝元年立ツ
淡海公ノ墓アリ

吉野山

吉野宮ハ明治ニ立ツ

橘寺

佛頂山上宮王院菩提寺ナリ
推古十四年宮ヲ寺トス 上宮ノ故蹟ナリ

岡本寺

推古十二年創シ天智二年今ノ堂成ルト云フ

橿原神宮

明治ニ立ツ

久米寺

高市郡久米ニアリ
久米仙人ノ傳説アリ

當麻寺

當麻ニアリ二上山ト號ス
推古二十年河内国交野郡山田郷ニ立テ白鳳二年天武

今ノ地ニ從ス役小角ノ傳說アリ

10 〈加製

和州舊跡幽考　林宗甫撰

頭塔

藤原廣嗣靈殺玄昉云々、玄昉通光明后云々、

帶解寺

文德后染殿臨產祈帶解地藏云々、

七大寺、十六箇寺

東大寺　興福寺　元興寺　大安寺　藥師寺　西大寺

法隆寺　○以上七大寺、拾芥抄

新藥師寺　本元寺　大后寺　不退寺　超證寺　京法華寺

招提寺　竜興寺　宗鏡寺　弘福寺　○以上十六箇寺

正倉院
寛喜二年盗、建長六年雷、
興福寺
藤原鎌足在山城山階時立之、故云山階寺
新薬師寺
聖武帝祈目疾而立之、
興福院
古名弘文院、傳圓能事見釋書、
薬師寺
天武帝立願、持統帝成之、自高市郡岡本徙添下郡右京六條

有佛足石、
西大寺
孝謙帝立之、故云高野寺、
中宮寺
自法隆寺東徙斑鳩寺邑、有天壽国曼荼羅、斑鳩寺者法隆寺東院也、
法隆寺
用明帝發願、聖徳太子立之、

東大寺要録巻第四

一羂索院 名金鐘寺 又改号金光明寺 亦云禅院〻〻

天平五年歳次癸酉創建立也、良弁僧正安置不

空羂索観音菩薩像、当像後有等身執金

剛神、是僧正本尊也、〻〻 登壇受戒、

〻応和二年八月廿日、大風顛倒 破損堂塔雑 一伝十南

大門并也、羂索院双倉、納物尤多

○歴山帝 孝安ノトキ アシリア波斯ノ藝術 六朝

阿輸迦 アカダ国 —加 迦膩色迦 カニダラ国 王ノ下ニ馬鳴アリ アスバゴシヤ 垂仁ノトキ グレシヤ印度ノ藝術

孝霊天皇ノ時 （アフガニスタン東ア 印度ノ西北ア） （罽賓）

漢武帝ノトキ張騫アリ

後漢明帝永平七年佛教入支那 ○東晋ニ法顕アリ

三韓傳来ノ推古式 古拙ナリ

唐土傳来ハ 天智式 精巧ナリ
天平式
奈良朝ノ風俗

○

法隆寺ハ推古天皇十五年ニ立ツ 資財帳、丁卯小治田大宮御宇天皇ニ〻

和銅再建説ト其駁議ハ書紀天智天皇九年ノ二一屋無餘ノ

10虎ノ門鈴木製

解釋ヲ殊ニスルナリ

元禄九年ノ修繕、十一年ニ至ル

桂昌院

是ヨリ先、永長、元久、弘安、応安、慶長ノ小修繕アリ

○

七堂伽藍 Sangharama 衆園 ノ禅寺前ノモノハ法隆寺ト四天王

寺旧形ヲ失ストノミナリ

塔婆 Stupa 茎ノ樹ル所ハ佛舎利ナリ法隆寺塔高サ十

一丈八寸（東寺十八丈、東大寺三十二丈）

金堂寺七德ハ伽藍ノ主ナリ

鴟尾、久都賀多、和名抄ニ唐令、石林燕語ニ吻アル

ヲ鴟トス 鴟尾、蚩尾、祠尾、鴟吻、螭吻、吻頭、蠻蛙ト

書ス

古玉圖譜ヲミルニ三代ニ既ニ角ニ吻アリ

呉越春秋ハ鯢魚ノ形トス

青箱雑記ニ漢建章宮ニ防火ノタメニ魚ノ形ヲ設ケ

シヨレ云ヘリ

建築上ニハ後世ノ鬼板ノ用ヲナス 鯱ハ贅物ナリ

玉虫厨子、昔金具ノ下ニ玉虫ノ羽ヲ布キタリト云

密陀模様ニ希臘式ノ「ホニイサツクル」忍冬アリ

「アカンツス」ナケレドモ似タル模様アリ

推古式

鳥佛師―山口大口―橘夫人厨子

天智式

壁画―薬師寺三尊

10 へ加製